

「グローバル創業都市・福岡」のビジョン
(素案)

平成26年9月

福岡市

目次

第1章 ビジョンの策定にあたって	2
1 ビジョン策定の背景と目的.....	2
2 ビジョンの位置づけ.....	3
3 ビジョンの目標時期	4
第2章 グローバル創業都市としての強みと課題	5
1 福岡市の強み	5
2 福岡市の課題	10
第3章 福岡市の目指す姿 ～「グローバル創業都市・福岡」の都市像～	11
第4章 福岡市の目指す姿を実現するための道筋	12
1 3つの道筋	12
2 成果指標	17
第5章 政策パッケージ(都市の将来像実現に向けた施策体系)	18
1 多様な人材・企業のチャレンジを促す、応援コミュニティの機能を高めるために	18
2 海外との盛んな交流により、新しい市場を拡大させ続けるために	22
3 グローバル都市に必要な高度な機能を整備・更新し続けるために	24

第1章 ビジョンの策定にあたって

1 ビジョン策定の背景と目的

アベノミクスの3本目の矢である新たな成長戦略（『日本再興戦略』¹）において、民間の力を最大限に引き出すために、「産業の新陳代謝とベンチャーの加速」、及び「規制・制度改革と官業の開放の断行」が重要な方向性として位置づけられました。

新たに事業を始める創業や既存企業が新しく事業を生み出す第二創業²（以下、これらをまとめて「創業」という。）の多くは、時代を先読みして、革新的な技術などでこれまでにない価値を生み出し、新たなビジネス領域を切り開きます。さらに、このような企業が世界とつながり海外市場を獲得すれば、伸長を続けるアジアと共にグローバルな活動で成長し、地域経済の活性化へ貢献します。

また、既存企業にも創業企業とのマッチングから新しいIT技術や新しいビジネスモデルなどの新しいアイデアを得たり、創業企業が開拓した新しいビジネス領域への挑戦や新しい取引、海外展開のチャンスが生まれ、これまでのビジネスに新たな展開をもたらし、企業の成長につながります。

このような企業の活動は、多くの雇用を創出³し、地元での就職先が増えるとともに、新しい商品やサービスを生み出し市民生活を豊かにします。近年日本の雇用創出の多くを担っている創業がもたらす多様な企業風土や文化は、短時間勤務や在宅勤務など様々な働き方を提供し、ライフスタイルに応じた働き方、新しい生き方を選べるようになります。また、女性や高齢者にも活躍の場が広がります。創業により既存ビジネスへの好影響、経済全体の活性化につながり、都市の成長が促され、都市の活力によってさらに生活の質が高まり、市民ひとりひとりが豊かさを実感する都市づくりにつながります。

福岡市は、このような創業を早くから支援し、人や企業をしっかりと生み育てる仕組みづくりに取り組むことで着実に成果をあげてきました。また、2013年（平成25年）9月には、産学官民一体となって福岡都市圏の国際競争力強化を進める福岡地域戦略推進協議会と共に、創業へのチャレンジを応援する社会へ日本を再構築することをコンセプトとして、国の成長戦略に位置づけられた大胆な規制・制度改革を実現する「国家戦略特区」の提案を行い、地域経済を活性化させる創業企業が、MICE⁴等を通じてさらに世界とつながりグローバルに活躍するモデルを示しました。

2014年（平成26年）3月には、福岡市が国家戦略特区に選定されました。国家戦略特区は、大胆な規制・制度改革を通じて経済社会の構造改革を重点的に推進することにより、産業の国際競争力の強化及び国際的な経済活動の拠点形成を図ります。

福岡市が「創業」という旗を掲げて特区の指定を受けたことで、国内外の期待と関心が高まっています。福岡市は特区としてその成功モデルを全国に広げ、日本の成長につなげ

¹ 「日本再興戦略—JAPAN is BACK—」（2013年（平成25年）6月14日閣議決定）

² 第二創業：既存の企業による業態転換や新事業・新分野への進出

³ 『中小企業白書 2011年版』によれば、2006年から2009年までの期間の新規開業事業所は全事業所の8.5%に過ぎないが、この新規事業所によって生み出された雇用は、全雇用創出の37.6%に達している。このことから、近年日本の雇用創出の多くを担っているのは若い企業といわれている。

⁴ MICE（マイス）：多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。企業などの会議（Meeting）、企業などが行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行：企業などが社員に報奨として与える旅行）（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会などが行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字をとったもの。

る役割を担っており、この機運の高まりとともに産学官民がそれぞれの取組みを推し進めて国内外の人と企業をひきつけ、そこから生じるチャレンジが経済成長につながる仕組みを充実させることが重要です。

国家戦略特区を取組み推進のエンジンとして、福岡市が率先して取り組めることをこれまで以上に進めるとともに、その効果を最大に引き出し、福岡市の施策、国の施策、税制、また民間の取組みなどを国家戦略特区で認められた規制改革等と有機的に組み合わせた「政策パッケージ」を実行していくべく、本ビジョンを策定するものです。

2 ビジョンの位置づけ

福岡市は、第9次福岡市基本計画（2012年（平成24年）12月策定）及び政策推進プラン（2013年（平成25年）6月策定）において「スタートアップ」（創業）を重点分野に位置づけるとともに、経済交流の活性化や人材の誘引など、地域経済が新たな価値を生み出すための環境整備にも注力しており、福岡市の経済活性化、新たな雇用の創出に取り組んでいるところです。

また、福岡地域戦略推進協議会は、2013年度（平成25年度）までの3カ年の第1期活動を通じて策定した地域戦略により、高い生活の質を武器に、交流の活性化により地域経済の成長を図るとともに、「MICE」を軸として、「人材」や「都市再生」などを柱とする戦略的なプロジェクトに取り組んでいるところです。

本ビジョンは、現在、福岡市と福岡地域戦略推進協議会が取り組んでいる創業支援や新たな経済価値の創出策、2014年（平成26年）3月28日に国家戦略特別区域として選定された⁵「福岡市グローバル創業・雇用創出特区」を活用して、行政単独ではなく、産学官民が一体となって目指す姿、基本方針とともに、主要な施策を政策パッケージとして体系的に示すものです。

⁵平成26年3月28日開催の国家戦略特別区域諮問会議において国家戦略特区として福岡市を含む6地域が示された。その後、国家戦略特別区域法第2条第1項の規定に基づく「国家戦略特別区域を定める政令」（平成26年5月1日施行）において正式に決定された。

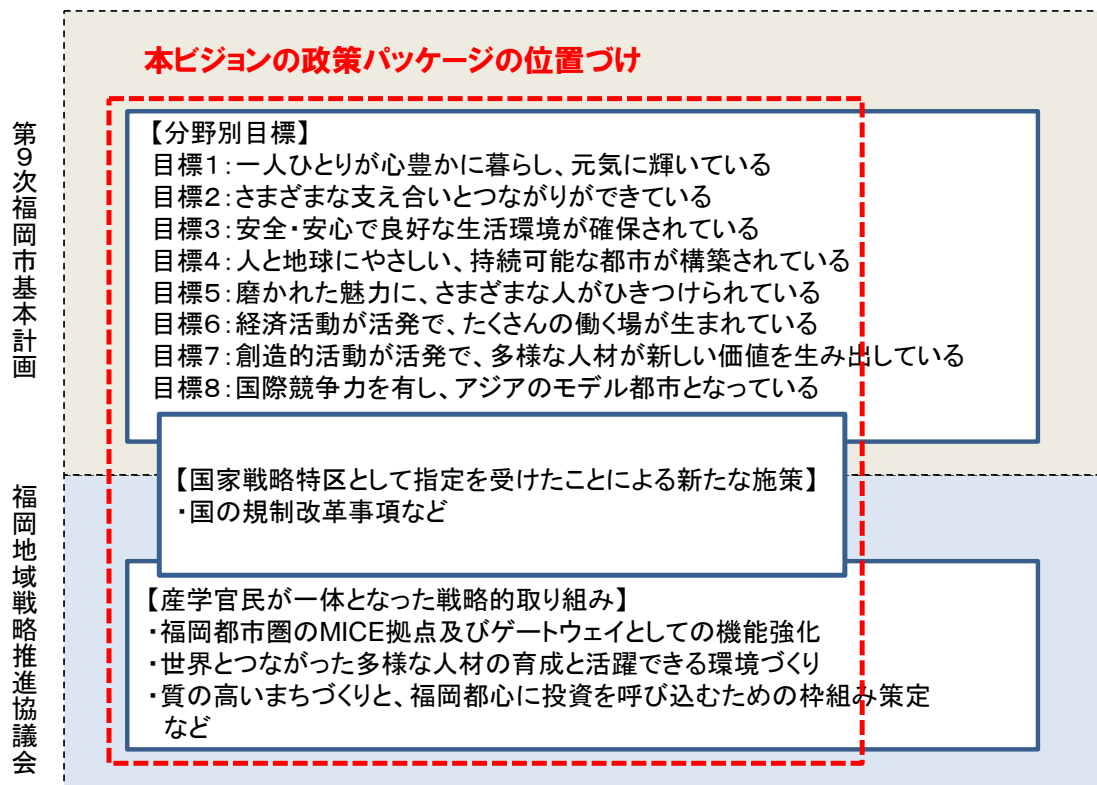


図 本ビジョンの政策パッケージの位置づけ

3 ビジョンの目標時期

本ビジョンでは、早期に着手できることからスピード感を持って実行することを基本としつつ、国内外から投資を呼び込む環境を将来を見据えて整備し、グローバル創業都市としての風土を醸成することの重要性を踏まえ、目指す都市像の実現に向けた目標時期を2018年度（平成30年度）とします。

なお、変化する社会情勢を見極めつつ、必要に応じて、随時見直しを図ります。

第2章 グローバル創業都市としての強みと課題

1 福岡市の強み

(1) 創業に適した環境

福岡市は創業に適したいくつもの要素を持っています。

ビジネス環境の面から見ると、イノベーションの源泉である先端学術研究や成長産業が集積しているとともに、優秀な人材を輩出する大学があります。留学生や理工系学生など豊かな人材を有し、若者比率が高いのが特徴です。

日本全体が少子高齢化という人口減少社会へ向かう中であって、福岡市の人口は150万人を超え、2035年（平成47年）頃まで約20年の間増加を続ける見込みです。人口増加率が政令市で一番高いというポテンシャルを考えると、非常に魅力的なビジネス立地であると考えられます。

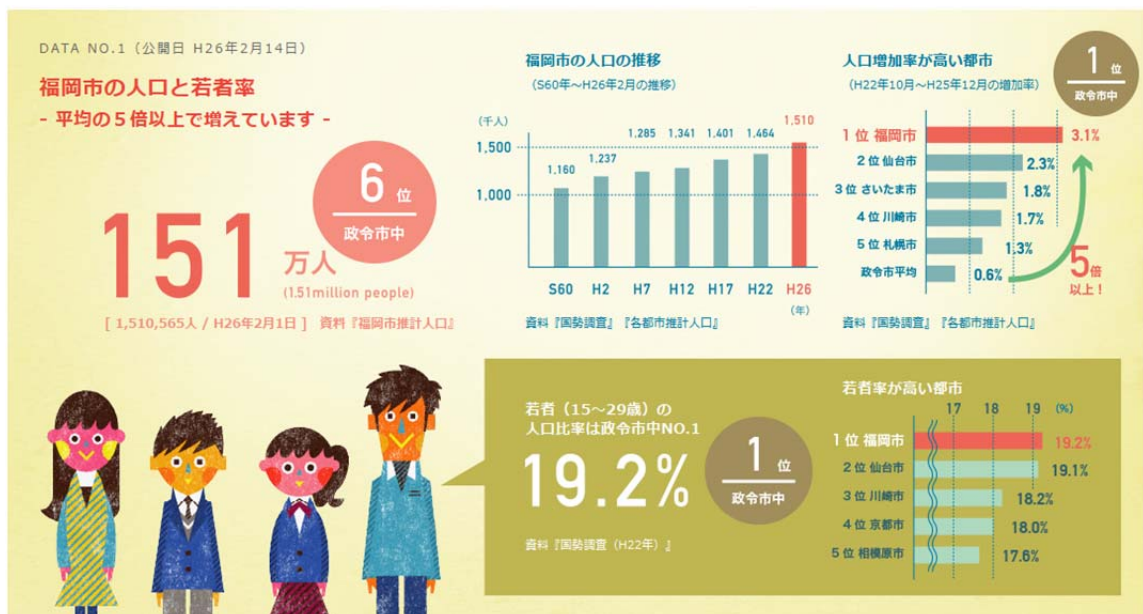


図 創業環境：人口増加率が高く若者率が高い

また、東京や大阪などと比べてオフィス賃料が低廉であるなど、ビジネスコストに関しても優位性を持っています。

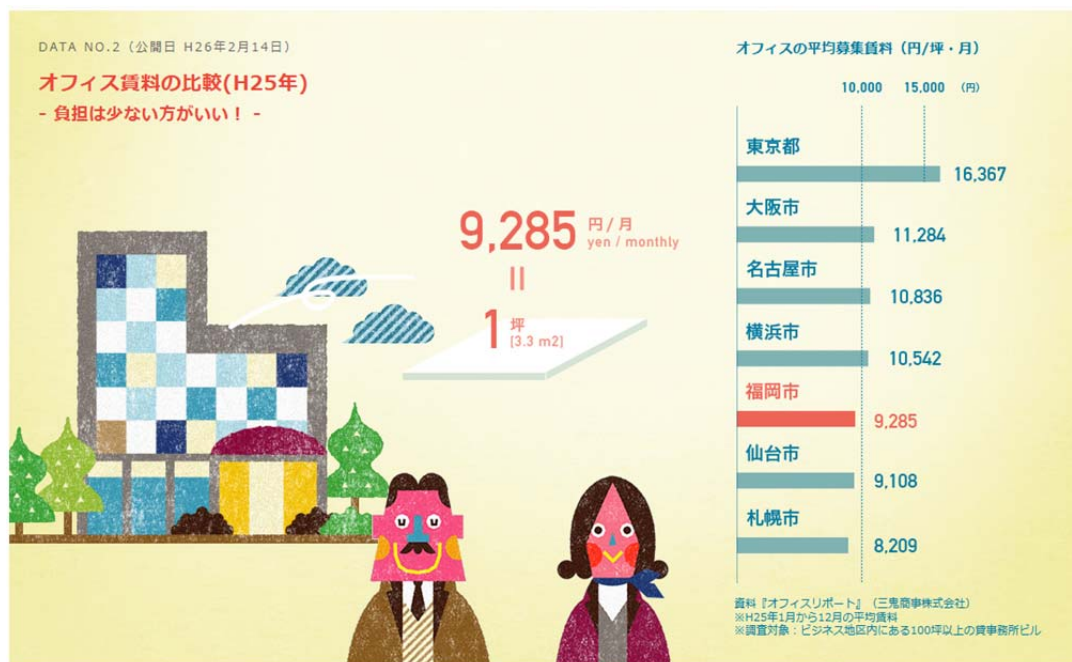


図 創業環境：オフィス賃料が安い

さらに、通勤・通学に要する時間の短さが7大都市圏中⁶1位であるなど、ストレスを感じることなくビジネスに集中できるうえ、東京や大阪などへの移動についてもアクセスの良さが際立っています。

⁶ 7大都市圏：人口100万人以上の都市が含まれる関東、近畿、中京、札幌、広島、仙台、北九州・福岡の大都市圏

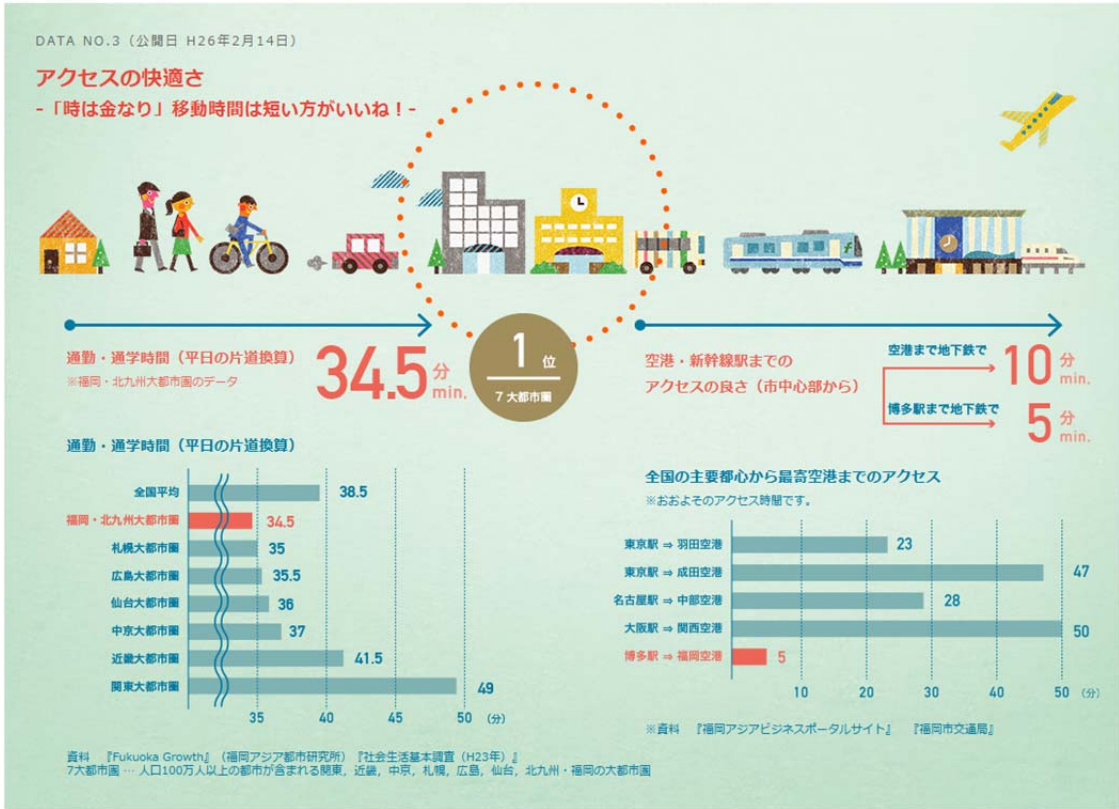


図 創業環境：交通の便がいい

コンパクトで豊かな自然に囲まれている福岡市は、長い歴史により作られた豊かな文化を有し、食・住・遊が近接した暮らしやすいまちです。交通の便が良く、食にも恵まれ、世界でもトップレベルの生活の質を保持しています。そのため、国内のビジネスマンから住みやすい都市、働いてみたい都市として選ばれている実績もあります。

米国のシアトルやサンフランシスコをはじめとして、このような環境下にある都市では、人々からクリエイティブで革新的な発想が生まれやすいと言われていいます。⁷

⁷ 経済学者・社会学者であるトロント大学経営大学院教授リチャード・フロリダ氏著『クリエイティブ資本論』によると、豊かなライフスタイルを楽しめる洗練された都会、多様性を受け入れる公平な社会、雇用機会に恵まれた経済環境など、都市の生活の質がクリエイティブな人材を誘引する重要な条件であるとされている。



図 創業環境：住みよいまち

海外から高度人材や企業が日本への進出・創業を考えた場合に、福岡市は、東京や大阪などに比べオフィス賃料などのビジネスコストが低い、世界的に住みよい街として高い評価を受けている、成長著しいアジア市場との交通アクセスが良いといった点から、日本全国の中でも群を抜いてポテンシャルの高い都市といえます。

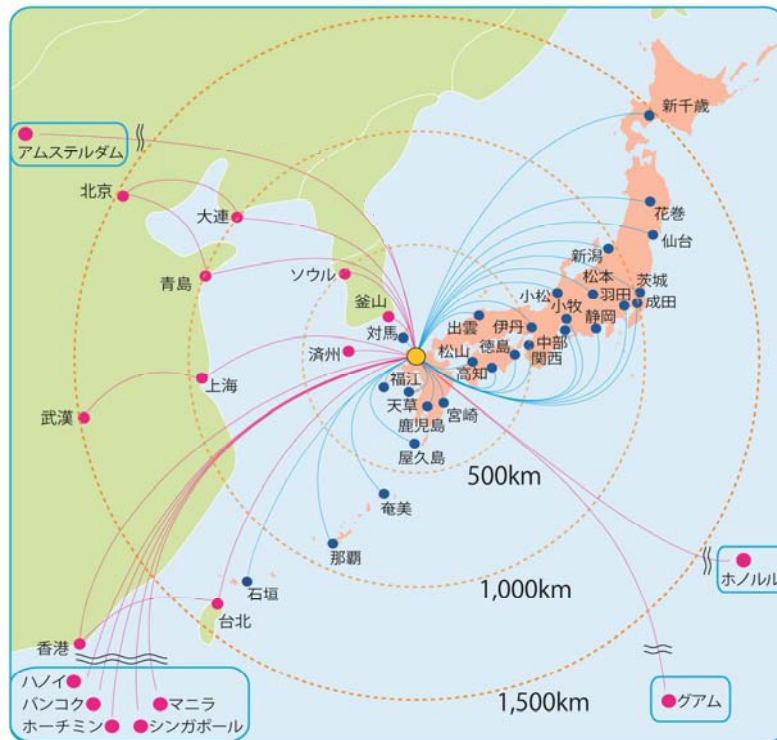


図 福岡から就航する海外 18 都市への国際線直行便 (H26 年 8 月現在)

(2) 早くから創業支援に取り組んできた成果

福岡市の人や企業を集める魅力には、クリエイティブな環境、立地の優位性、創業に適した人材の集積などの要素だけでなく、古くから商人のまちとして様々な人々を受け入れてきた歴史や、祭り好きで他人をもてなしたい市民の気質も関係しています。開放的で寛容な風土は、様々なチャレンジを応援する素地につながっていると考えられます。

福岡市では、独創的なアイデアまたは技術をもとに新しい製品やサービスを生み出そうとする創業者を育成するため、2000年（平成12年）に福岡市創業者育成施設（インキュベーション施設）を開設し、本格的な創業支援を始めました。2003年（平成15年）には、福岡市で創業した先輩経営者や専門家等による「福岡市創業者応援団」が組織され、創業者を様々な角度から支援する取組みも開始されました。これらの取組みの後押しもあって、全国でも開業率の高い都市としての実績を上げています。

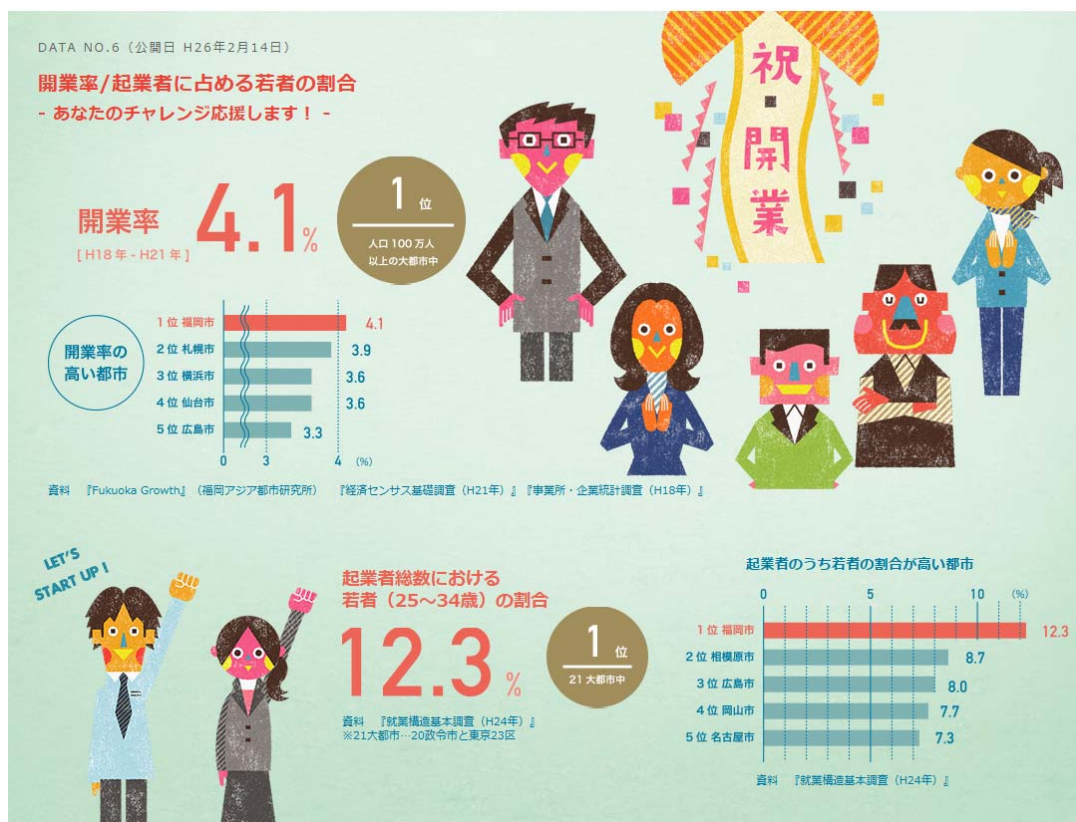


図 創業の実態：開業率が高く、若者の起業者が多い

2012年（平成24年）には、「スタートアップ都市ふくおか宣言」を行い、2013年（平成25年）には、創業支援に取り組む先進都市が集まり「スタートアップ都市推進協議会」を設立するなど、日本全体の創業の拠点を目指した取組みを始めています。また、国や県の創業支援の取組みや、大学における知財の活用、民間による創業を応援する取組みも増えてきています。

このように、福岡市は創業環境の優位性を持つとともに、産学官民の様々な支援のネットワークやファンド、行政によるインキュベーション施設、融資制度など創業を支援する環境が一定程度整っています。

2 福岡市の課題

(1) 新たな挑戦を応援する風土の醸成

福岡市の開業率は国内上位ですが、日本全体の開業率は米英と比べ低いのが実情です。創業への意欲の低さとともに、事業失敗についての経営者個人の責任の重さ、再チャレンジの難しさなども創業へのハードルとなっています。

新たな価値を創造していく先鋭的な人材や企業が挑戦できる都市となるためには、創業や社会実験、ソーシャルビジネス⁸、新たなプロジェクトなど、様々な分野でチャレンジする人材や企業を国内外から福岡市に呼び込み、創業者の成長段階に応じたきめ細やかな支援が必要です。

(2) ビジネスを海外につなぐ仕組みづくり

全国的に人口減少局面を迎え、国内市場の拡大が見込みにくい中、地場企業が将来的にも持続的に成長していくためには、新たな市場を求めていく必要があります。市場のひとつとして海外市場の成長は魅力的であり、海外展開のためのビジネス支援を強化していく必要があります。しかしながら、海外へ事業拡大を図る場合のネットワークが不足しているのが実情です。そのため、地場企業と海外企業との商談機会を増やし、海外の企業や人材の福岡への誘致、地場企業の海外展開の支援を進めることが必要です。

また、海外ネットワークを形成する手段のひとつとして、MICEがあります。福岡市は国際会議件数が東京に次いで国内第2位ですが、国際的には日本のMICE誘致力は低下しています。MICEには、開催による経済効果のほか、MICEを通じた国や都市のブランド力強化による競争力の向上など、多くの意義があります。中でも、福岡に多様な人材が集まって、交流することにより、新たなビジネス機会やイノベーション⁹が生まれるなどの効果が期待されます。こうしたことから、MICE誘致によって国際競争力を強化するとともに、MICEを創業支援に活用することが重要です。

(3) グローバル経済都市の機能整備

新たな価値の創出が必要とされる現代では、個々人が有する創造性あふれる感性やアイデアが重要であり、創造性に富んだ文化や産業を有し、多様な人材が集まって、活発な交流が行われる都市づくりが求められています。特に、福岡都市圏及び九州全体の経済をけん引していくためには、福岡市都心部の機能を磨き続けていくことが重要です。加えて、グローバル創業都市を目指すにあたっては、外国人創業者などのグローバル人材やその家族などが暮らしやすいまちであることが重要であり、教育や医療、情報アクセスなどの環境づくりが必要です。

また、アジアとの物流網の充実、新規航空路線の就航などにより、人の移動や経済活動が活発化することが見込まれます。国内外の人流・物流の増加に対応するとともに、国際競争力をさらに高めるため、港湾・空港機能の一層の強化が必要です。

⁸ ソーシャルビジネス：地域社会において顕在化しつつある多種多様な社会課題（環境保護、高齢者・障がい者の介護・福祉、子育て支援、まちづくり、観光等）の解決に向けて、住民、NPO、企業など、様々な主体が協力しながらビジネスの手法を活用して取り組む活動

⁹ イノベーション：技術や制度の変革を利用して、新たな発想により、新たな商品やサービス、市場などを開拓すること。

第3章 福岡市の目指す姿 ～「グローバル創業都市・福岡」の都市像～

福岡市の目指す「グローバル創業都市」とは、人と環境と都市活力が調和のとれた住みよい環境を生かして、国内外からチャレンジしたい人と企業が集い、地元の人や企業も含めた活発な交流により、革新的な発想が次々と生まれ、新しい価値を生み続ける都市です。

具体的には次の3つの都市像をイメージしています。

都市像Ⅰ：創業を促し、再チャレンジを応援する仕組みを持つ都市

チャレンジを促し、失敗してもその価値を評価する風土が醸成されて、周囲が再チャレンジを積極的に応援する仕組みがあります。

具体的には、創業を志す人が新しいビジネスを立ち上げて成長するまでの過程を、創業経験者のネットワークや資金提供者などが支援します。

創業を支援するこのような人々の輪（応援コミュニティ）が厚みを増し、様々な主体が連携して様々な場面で創業を応援することにより創業が生まれ続け、失敗してもコミュニティの中で再チャレンジできる仕組み（エコシステム）¹⁰があります。

都市像Ⅱ：ビジネスが世界と容易につながる自由都市

福岡に来れば、様々な事業がすぐにグローバル市場につながり、誰でも容易に世界でチャレンジできるような、交流・交易ができる環境が整っています。

海外との交流を通じ、創業都市として福岡市の存在感が高まっています。

都市像Ⅲ：グローバルビジネスを呼び込む高機能都市

世界で活躍する企業やグローバル人材をひきつける高度で創造的なビジネス環境が整っています。また、グローバル人材にとって働きやすく暮らしやすい環境の中でその能力が存分に発揮され、それが地域経済の活性化につながっています。

¹⁰「エコシステム」は本来、生物とその環境の構成要素を1つのシステムとしてとらえる「生態系」を意味する科学用語であるが、ここでは複数の企業・人材が創業や事業活動などで連携することで、互いのアイデア、ノウハウ、技術や資本を生かしながら、業界の枠や国境を超えて広く共存共栄していく仕組みを指す。

第4章 福岡市の目指す姿を実現するための道筋

1 3つの道筋

福岡市は「国内外からチャレンジしたい人と企業が集い、新しい価値を生み続ける都市」を目指し、以下の3つの道筋を描きます。

- I 多様な人材・企業のチャレンジを促す、応援コミュニティの機能を高める
- II 海外との盛んな交流により、新たな市場を拡大させ続ける
- III グローバル都市に必要な高度な機能を整備・更新し続ける

都市像 I 「創業を促し、再チャレンジを応援する仕組みを持つ都市」の実現に向けて 道筋 I 多様な人材・企業のチャレンジを促す、応援コミュニティの機能を高める

創業には大きく分けて「創業検討期」「立ち上げ期」「成長期」の3つの段階がありますが、多様な人材・企業のチャレンジを促し、新たな価値を生み続けるためには、創業（立ち上げ期）だけでなく、その前段として創業を志すこと（創業検討期）、また創業した企業やビジネスが成長すること（成長期）の3つの段階への支援が必要です。

各段階に応じた支援を行うことにより創業を促進すると同時に、応援コミュニティの機能を高めます。

(1) チャレンジ・再チャレンジの機運を高め、裾野を広げる（創業検討期）

創業が盛んになるには、まず創業を志すことが第一歩です。日本においては就職先として大企業を志向する人が多く、失敗について容認されづらい環境もあって、創業を志す人材が不足しています。

このため、創業検討期においては、子どもたちが職業観を形成する中で創業への関心を高めチャレンジ精神を養う取組みを行い、また学生、女性、シニアをはじめとした幅広い人材に創業の意義や楽しさを知ってもらうことで創業の裾野を広げます。

また、経営についての知識や創業者の経験などを学ぶ機会を提供し、失敗を評価し再チャレンジにつなげる取組み、さらに奨学金制度などチャレンジ精神から一歩を踏み出した行動を支援し、チャレンジ・再チャレンジの機運を高めます。

(2) 厚みのある応援コミュニティが創業者を助け、イノベーションを促す（立ち上げ期）

創業が雇用を生み出し地域経済に貢献するには、創業後の諸問題を解決し成長していくことが必要です。創業の立ち上げ期においては、スムーズに事業を軌道にのせること、企業が成長する機会を提供することに重点を置き、創業にかかる事務的な負担を軽減して、事業に必要な人材や資金等の各条件を整えやすくします。

人材に関しては、創業の応援コミュニティの交流拠点の形成や雇用ルールを理解促進等を行うとともに、事業に必要な人材を国内外から集めるための情報発信や交流を進めます。

資金に関しては、融資制度、ファンド、税制による負担軽減に取り組みます。

また、産学官民によるイノベーション創出のためのプログラムや実証実験の場を提供し、速やかに実用化・事業化されるよう支援するなど創業へとつなげるとともに、販路開拓の支援により経営を安定化させます。

(3) 成長企業を大きく育てる（成長期）

企業を大きく育てる成長期においては、事業のグローバル展開を支援するとともに、特定の分野について重点的な取組みを行います。

事業のグローバル展開の支援は、海外の都市や支援団体とのネットワークの充実化を図ります。

福岡市に優位性があり成長が見込まれるクリエイティブ関連産業¹¹、食関連産業¹²、ヘルスケア関連産業¹³、環境・エネルギー産業¹⁴などの分野において重点的に成長を促すため、既存の支援の枠組みの強化、関連団体との協働、産学連携の促進など、それぞれの産業に適した支援策に取り組みます。

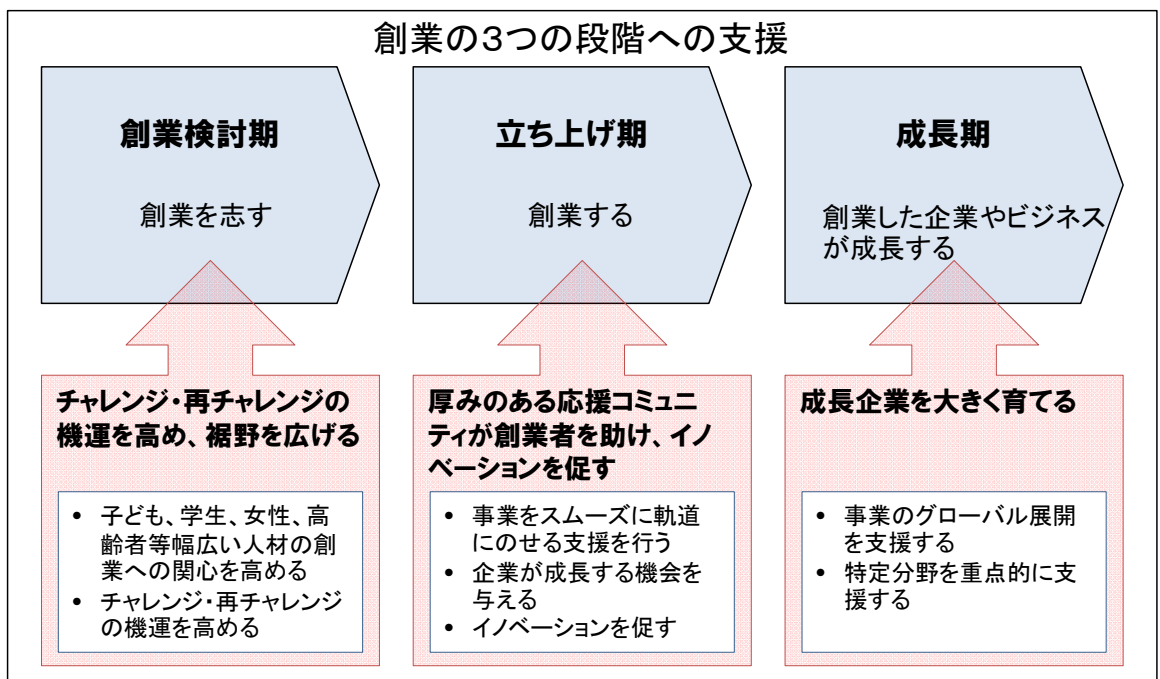


図 多様な人材・企業のチャレンジを促す、応援コミュニティの機能を高める

¹¹ クリエイティブ関連産業：建築、コンピューターソフト・サービス、映像・音楽、広告、デザイン業などからなる産業群（経済産業省の定義に基づく）

¹² 食関連産業：一次産品を作る農林水産業から、農林水産品の加工、物流、流通、飲食サービス、また、これら事業活動をサポートする機器、設備、サービスなど食に関わる幅広い産業を指す。

¹³ ヘルスケア関連産業：医療・非医療含めた健康の維持・増進に資する産業や、生活の質の向上や美容の維持・向上など、健康上の悩みの解消や各種症状の緩和、予防・管理などの役割を担う産業を指す。

¹⁴ 環境・エネルギー産業：環境の維持、改善や保護に資する産業と、化石燃料・非化石燃料を含むエネルギーに関わる産業の総称

都市像Ⅱ「ビジネスが世界と容易につながる自由都市」の実現に向けて 道 筋Ⅱ 海外との盛んな交流により、新たな市場を拡大させ続ける

海外との盛んな交流を進め世界につながる企業を次々と増やし、新たな市場を拡大させ続けるために、福岡市での MICE の開催、外国・外資系企業とグローバル人材の福岡進出、地場企業の海外進出に重点をおいて取り組みます。

(1)魅力的な MICE 開催の場をつくる

MICE 開催の場づくりは、主催者ニーズに応えるために、規制緩和やソフト施策、コンベンションゾーンの機能強化などの拠点整備を組み合わせながら、公共空間や歴史的建築物等を会場（ユニークベニュー¹⁵）として活用できるようにするほか、海外からの来訪者が訪れやすく移動しやすい支援を行います。また、MICE 開催後の参加者の観光旅行（いわゆるアフターコンベンション）のニーズに対応した都市型観光の魅力づくりを図ります。

(2)活発なビジネス交流を担う人材と組織を育て、MICE の機会そのものを増やす

活発なビジネス交流を担う人材と組織に関して、MICE 誘致に専門的に取り組む組織・団体や、開催を支援する人材・組織の育成に取り組みながら、MICE の機会拡大を図ります。

また、大学や専門学校と連携した専門人材の育成を図るとともに、施設や街中でのおもてなし充実のために、MICE 関連産業従事者の対応力向上や市民ボランティア活動の充実、言語教育等を強化します。

(3)企業と人材を呼び込み福岡市のグローバルビジネス環境を整える

外国・外資系企業が福岡市に拠点を形成したり、外国人が福岡市で創業したりすることによって、海外とのネットワークの強化など、グローバルにビジネスを行う環境の形成も進展することから、外国・外資系企業や外国人創業人材の誘致に取り組みます。

立地交付金制度や法人減税などを活用しながら福岡への進出の条件を整え、国や関係機関と連携しながら経済交流やプロモーション活動等を行い、外国・外資系企業の戦略的な誘致を図ります。

(4)地場企業のグローバル化を加速させる

地場企業が海外市場に容易に事業展開することができる政策環境を整えます。

商談会やセミナーの開催等により地場企業の海外への販路拡大を支援するだけでなく、地場企業への海外市場情報の提供、ビジネス支援、人材育成等を実施します。特に福岡市に優位性があり成長が見込まれるクリエイティブ関連産業や食関連産業に関しては、海外における福岡市の知名度・認知度をプロモーション活動を通じて向上させ、海外展開につなげていきます。

同時に、アジアにおける生活基盤整備への寄与など、国際貢献・国際協力を積極的に推進し、福岡市の国際的地位を高めるとともに、そのネットワークを活用してビジネスの展開にもつなげていきます。

¹⁵ 特別な（ユニーク）会場（ベニュー）を意味する英語。歴史的建造物などで、会議や歓迎会などを開くことで、地域の特性や個性的な雰囲気を演出できる会場のこと。

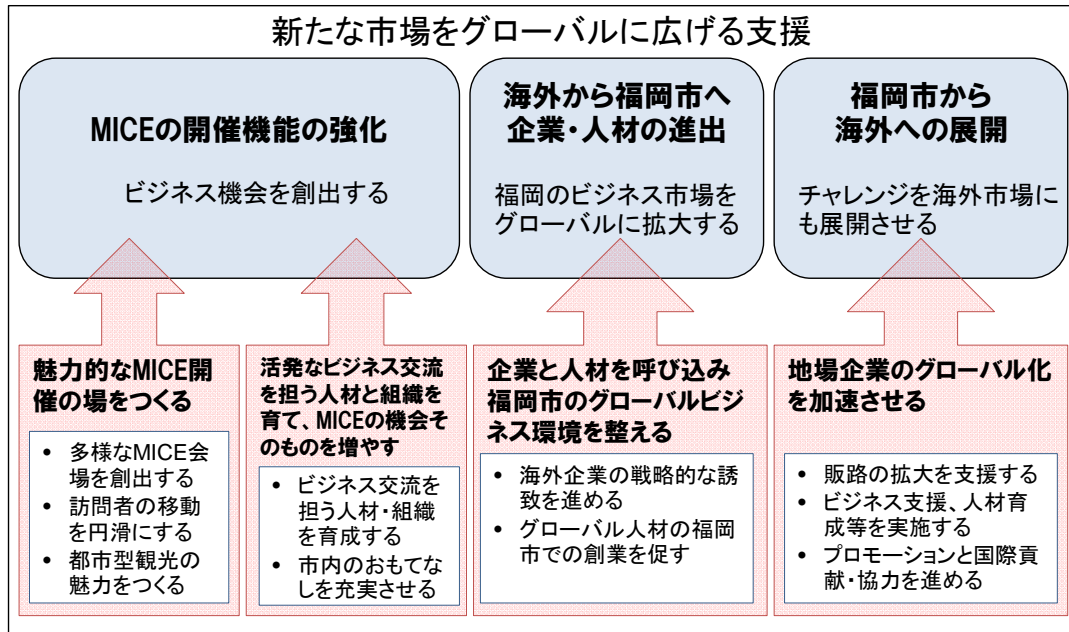


図 海外との盛んな交流により、チャレンジする市場を拡大させ続ける

都市像Ⅲ「グローバルビジネスを呼び込む高機能都市」の実現に向けて 道 筋Ⅲ グローバル都市に必要な高度な機能を整備・更新し続ける

グローバルビジネスの担い手を福岡市に呼び込み、福岡でビジネスを進めてもらうために、高度な都市機能の整備と安心して快適な生活が営める環境づくりに重点をおいて取り組みます。

(1) グローバル人材とその家族が住みやすい都市機能を実現する

グローバル人材とその家族が住みやすい都市機能を実現するために、在留資格等の要件緩和だけでなく、その家族も含めた暮らしの利便性、医療環境、教育環境を整えるための規制緩和や機能整備、日常生活に必要な情報提供などの支援を行うなど、誰もが住みやすく活動しやすいまちづくりを進めます。

また、生活習慣などの文化の違いから生じる生活上の無用な行き違いを防ぐため、文化の相互理解の促進に努めます。

(2) 世界で活躍する企業やグローバル人材をひきつけるビジネス環境を実現する

世界一チャレンジしやすい都市になるためには、グローバル企業が福岡でビジネスを行う快適な環境を整える必要があります。歴史や文化に恵まれコンパクトで豊かな自然に囲まれている福岡市の利点を活かして、特に創造的なビジネス環境を創出するための基盤整備に注力します。

多くの来訪者でにぎわう都心部においては、クリエイティブな人材や企業の集積を図ることとあわせ、出会いと交流を促す魅力的な都市空間の創出などにより、創造的な場づくりに取り組みます。民間開発の誘導、公共用地の活用、公衆無線 LAN など通信環境の整備等を通じて、都市機能を高めると同時に、回遊性の向上も図ります。

今後さらにヒト・モノの交流が活発になる博多港と福岡空港についても、アジアの玄関口にふさわしい機能強化を図り、物流・人流のゲートウェイづくりを進めていきます。

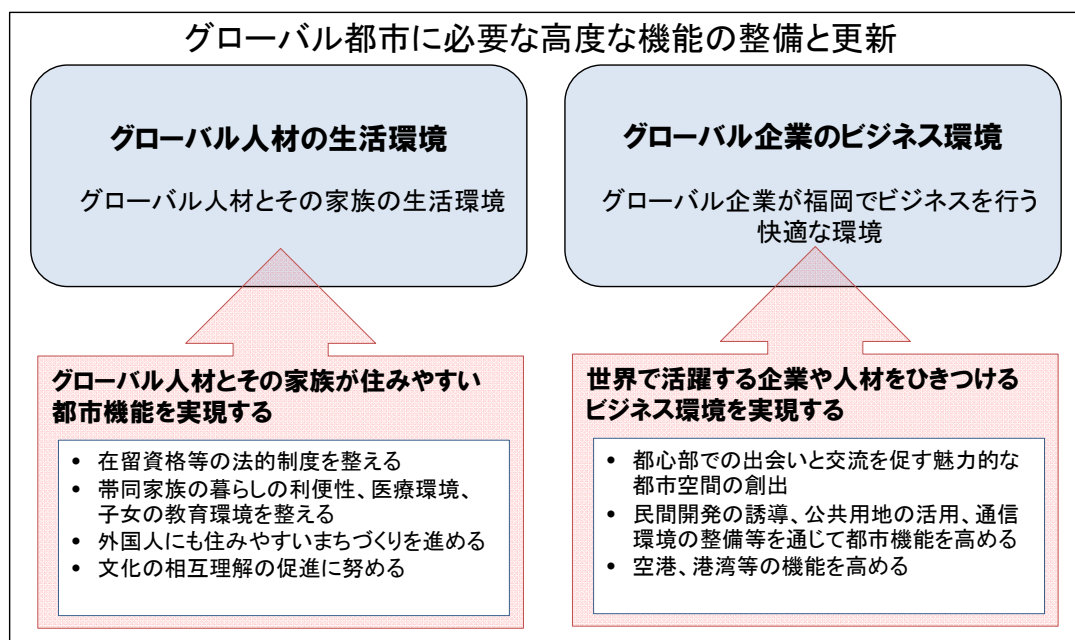


図 グローバル都市に必要な高度な機能を整備・更新し続ける

2 成果指標

○開業率	平成 30 年度	13.0% (平成 24 年度 6.2%)
○年間新規雇用者数	平成 30 年度	20 万人 (平成 24 年度 15 万人)

※その他「意識系」の指標を検討

(参考)

- ・起業・創業をしたことがあると答えた人 11.6% (平成 25 年度 市政に関する意識調査)
- ・将来、起業・創業したいと答えた人 19.5% (平成 25 年度 市政に関する意識調査)
- ・就業機会の多さに対し満足と答えた人 36.1% (平成 25 年度 市政に関する意識調査)

第5章 政策パッケージ（都市の将来像実現に向けた施策体系）

都市像を実現する道筋として取り組むべき政策の方向性と主要な施策を体系的に整理し「政策パッケージ」としてまとめています。

1 多様な人材・企業のチャレンジを促す、応援コミュニティの機能を高めるために

(1) チャレンジ・再チャレンジの機運を高め、裾野を広げる（創業検討期）

施策	概要
こども、学生のチャレンジ教育	<ul style="list-style-type: none"> ・経済界と連携し、自ら主体的に活動し方向を示していくようなチャレンジ精神に満ちた子どもを育てるため、起業家による小中学校等での訪問授業等を実施する。 ・中学生・高校生を対象とした「中高生夢チャレンジ大学」を開催し、自分の強みや個性を生かした職業や将来を考える学びの場を提供する。 ・産業界と大学が連携したカリキュラムを実施する。 ・学生主体のグループが自ら考えたビジネスプランの実践を支援するビジネスチャレンジ事業を実施する。
女性のチャレンジ支援	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の創業を促進するため、事業計画や資金調達等、企業や事業経営に必要な知識や情報を提供する「女性の起業支援セミナー」を実施する。
大学生のインターンシップの促進	<ul style="list-style-type: none"> ・各大学におけるインターンシップを促進するとともに、企業と連携した授業、起業家教育の充実などを促進する。
スタートアップ奨学金	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ心あふれる大学生をグローバル人材として育成し、帰国後の地元福岡での活躍に向け、大学の交換留学制度により留学する日本人大学生を対象に奨学金を貸与する。
ビジネスコンテストの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市創業者応援団と連携し、成長に向けた優れた事業計画を持つ創業者の表彰及び助成を行うステップアップ助成事業を実施する。 ・ソフトウェア技術者等を対象にした「ハードウェア・スタートアップ」や新産業の創出を目指す「アイデアソン」「ハッカソン」を実施する。

(検討中)

- ・チャレンジ精神に満ちた子どもの育成を目指して、各市立学校の図書室に関連書籍や資料を配備し活用を図るとともに、起業家等の協力による講話や授業等を実施する。
- ・高齢者の創業等を促進するため、高齢者が創業等に必要な知識や技術を習得する場の提供などを行う。
- ・過去の失敗した経験を活かし、再チャレンジを目指し経営などを専門に学ぶ人を支援する。

(2) 厚みのある応援コミュニティが創業者を助け、イノベーションを促す（立ち上げ期）

施策	概要
インキュベート施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低廉な賃料で創業者に事務所スペースを提供し、併せて経営サポート等の支援を行う。
創業時の資金融資	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期・低利で利用できる融資制度（スタートアップ資金、ステップアップ資金）を設け、創業者の資金調達を支援する。
スタートアップコミュニティ交流拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創業の裾野を拓げるため、創業に関心がある者や応援者などが気軽に集まり交流できる場として「スタートアップカフェ」を設置する。 ・ 雇用条件の明確化のための「雇用労働相談センター」をスタートアップカフェに併設し、創業から人材まで一体的な支援を行う。【特区】 ・ 福岡市創業者応援団やスタートアップサポーターズなどの応援コミュニティとの連携強化を図る。
創業準備の円滑化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求職活動と並行して創業の準備・検討を行う場合について失業給付対象とする。【特区】
販路開拓と新たなビジネス機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 優れた新商品を市が認定し、認定商品のPR等を行うとともに、認定商品が物品の場合は、市の機関での随意契約が可能になる「福岡市トライアル発注認定事業」により、行政からの受注実績を上げ信用度を高めることで、創業企業の成長を支援する。
イノベーションを創出する仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡の多様な人材と企業や海外都市が、共に革新的なビジネスアイデアを創出するとともに、海外都市と連携した情報受発信やグローバルビジネス展開を行うためのプラットフォームである「イノベーションスタジオ福岡」を支援する。
地域における創業支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地場企業の経営者等と連携した福岡市創業者応援団事業のほか、産業競争力強化法に基づく国の認定を受けた創業支援事業計画に基づき、地域の民間事業者等と連携して実務的な創業セミナー等を実施する。【市・国】 ・ 地域の公的支援機関（福岡商工会議所、フクオカベンチャーマーケット協会、日本政策金融公庫、市）で構成する「スタートアップ応援ネットワーク FUKUOKA」より、施策情報の共有や発信を行い、連携した支援事業を実施する。
創業に係る登録免許税減税	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の登録免許税の軽減等の支援を行う。（産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画に定める一定の支援を受けた創業者が対象）【市・国】
産学連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学や研究機関との連携により研究成果の実用化の実現を支援する。
民間ファンドとの連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡市創業者応援団有志によるベンチャー投資ファンドと連携し、優れた創業者の掘り起こしや、これらの成長の促進に取り組む。

施策	概要
実証実験の支援	・市の施設等を民間の実証実験の場に提供し、新技術等の実用化・事業化を支援する。

(検討中)

- ・スタートアップカフェにおいて、創業手続に関する相談や諸手続きに必要な士業・機関への紹介を行いワンストップ化を図る。併せて国家戦略特区による規制改革を通じ手続きの円滑化・簡素化を図る。【市・特区】
- ・経営支援に深く関わるインキュベーターマネージャー等を配置し、きめ細やかな支援を新たに行うインキュベーター施設の運営事業者に対する補助等を行う。
- ・販路開拓と新たなビジネス機会の創出に向けて民間団体と連携したビジネスマッチングやテーマ別ワークショップなどを実施する。
- ・民間ファンドと連携し、創業検討段階（シードステージ）・創業直後（アーリーステージ）を対象としたファンドを創設する。
- ・外国人創業者の支援として、創業についての一定の条件を満たした者について入国管理局への在留資格の申請補助資料として保証書類の発行や、外国語による創業手続支援などを行う。
- ・デジタル工作機器を活用したモノづくり、IoT¹⁶、ビッグデータ等を活用した新たなビジネスモデル構築支援を実施する。
- ・スタートアップに着目した法人実効税率の引き下げを提案する。【特区】
- ・国家戦略特区による規制改革を通じ、大学におけるインターンシップを就職につなげる取組みを行う。【特区】
- ・大学との共同研究や大学の技術やアイデア（シーズ）を利用して実用化・事業化を行う者に対する支援を行い、大学発ベンチャーの創出を図る。
- ・販路開拓と新たなビジネス機会の創出に向け、道路や公共施設での試験開業プログラムの実施や、国家戦略特区による規制改革を通じ創業企業と市が随意契約を行う仕組みを提案する。【市・特区】
- ・福岡発の新技術、新ビジネスの創出に向け実証実験支援体制を充実させる。
- ・水素、燃料電池に係る新技術や事業モデルの実用化、事業家の支援を行う。

¹⁶ IoT (Internet of Things :モノのインターネット) : 従来は主にパソコンやサーバー、プリンタ等の IT 関連機器が接続されていたインターネットに、それ以外の様々な"モノ"が接続される技術や環境を指す。

(3)成長企業を大きく育てる

施策	概要
国際的なビジネスプラン・コンテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルに活躍するベンチャー企業の創出を目指し、国内外の起業家による英語でのビジネスプラン・コンテストと海外展開の支援、スタートアップ意識の醸成や新たなビジネスの創出、ネットワーク構築を行う。
重点分野産業振興	<p>クリエイティブ関連産業、食関連産業、ヘルスケア関連産業、環境・エネルギー産業など特定の分野を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームや映像、デジタルコンテンツなどクリエイティブ関連産業の振興を図り、関連分野の人材育成や産業の集積を図る。 ・フードビジネス協議会を通じて、貿易相談、情報提供、共同営業、ブランド化に向けた支援などを行う。 ・水素リーダー都市プロジェクトの推進など
新産業振興	<p>有機エレクトロニクス関連産業、ロボット関連産業など特定の分野を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機エレクトロニクスの研究開発の支援や、九州大学における研究成果等の産業界への橋渡し等の取組みに参画する。 ・ロボスクエアの工房やインキュベーション施設等を活用した起業支援を行う。

(検討中)

- ・重点分野の支援を充実するとともに、Eコマースなど新たな分野の振興に取り組む。
- ・大企業とベンチャー企業の連携を促す、マッチング支援を行う。

2 海外との盛んな交流により、新しい市場を拡大させ続けるために

(1) 魅力的な MICE 開催の場をつくる

施策	概要
ユニークベニユーの開発	<ul style="list-style-type: none"> 施設や街中での受入環境を充実させ独創的な MICE イベントを開催し、MICE の魅力を向上し誘致を促進する。 国家戦略特区による規制改革を通じた公道を活用した賑わい創出イベントを開催する。【特区】 歴史的建築物を MICE 会場等に活用したイベント等を開催する。【特区】
グローバル MICE 戦略都市の推進	<ul style="list-style-type: none"> 2013 年（平成 25 年）6 月に観光庁から「グローバル MICE 戦略都市」として指定され、国の支援の下、国際競争力向上に向けて、専門家によるコンサルティング業務や海外に対するプロモーション活動等を行う。【市・国】
コンベンションゾーンの強化	<ul style="list-style-type: none"> 第 2 期展示場の整備により大規模会議や展示会などの開催余力を向上させる。 コンベンションゾーンの施設集積を生かし、MICE 関連施設の一体的・機能的配置を図り、九州・アジアの海の玄関口にふさわしい交流拠点を目指す。

(検討中)

- 国家戦略特区による規制改革を通じて MICE の来訪者に係るファースト・レーンの設置やビザ発給手続の簡素化など出入国手続の迅速化・円滑化に取り組む【特区】

(2) 活発なビジネス交流を担う人材と組織を育て、MICE の機会そのものを増やす

施策	概要
MICE 誘致活動の強化	<ul style="list-style-type: none"> 新設の Meeting Place Fukuoka により MICE ワンストップ組織の活動を強化し、MICE 誘致を進める。 国際機関「ICCA」への加入を活用し、国際会議の情報収集、海外との誘致ネットワークの形成を図る。

(検討中)

- MICE の担い手となる人材と組織を育成するとともに、大学や企業等が主催となる MICE の開催支援を行う。
- 大学や専門学校などと連携し専門人材の育成に取り組む。また、MICE に関連する企業・団体とともに市民を巻き込み市全体でおもてなしのできる体制づくりを進める。

(3) 企業と人材を呼び込み福岡市のグローバルビジネス環境を整える

施策	概要
外国企業に対する支援	・福岡市立地交付金制度などの支援制度の活用や、福岡市外国企業・投資誘致センターの運営、福岡市企業進出支援サイト「Asia-biz Fukuoka」による情報発信等により、外国企業や外国人創業人材への誘致・支援を行う。
海外向けのシティーセールス	・海外主要都市等において、トッププロモーションをはじめとするシティーセールス活動を実施し、企業や投資家に向け福岡市の投資環境をPRする。
外国経済団体や海外諸都市との連携強化	・福岡市内に拠点を持つ外国経済団体（貿易センターなど）や、姉妹都市等の海外諸都市との連携を強化し、外国企業の誘致を推進する。

(4) 地場企業のグローバル化を加速させる

施策	概要
新たに海外進出する企業の支援	・セミナーや貿易実務講座・語学講座の開催、コンサルティング、関連団体の情報の一元的な発信等により、海外進出の初期段階に必要な情報やノウハウを提供する。
商談会・展示会による販路拡大支援	・Food EXPO Kyushu の開催や商談会・展示会への出店支援などにより販路拡大の機会を提供する。
海外事務所等による支援	・福岡市上海事務所や関連団体の海外拠点などのネットワークを活用し、地場企業の海外展開を促進する。
クリエイティブ関連産業の振興（海外展開支援）	・FACo を活用した海外プロモーション、英国政府とのMOU を活用したミッション派遣などを通じ、海外展開の機会を提供する。
国際貢献を通じた海外ネットワークの構築	・「住み良いまちづくり」に関する国際視察・研修の受入れ等を通じ、アジアをはじめとする海外ネットワークの構築を図る。

3 グローバル都市に必要な高度な機能を整備・更新し続けるために

(1) グローバル人材とその家族が住みやすい都市機能を実現する

施策	概要
外国人の暮らしの利便性向上	・外国人への日本語学習支援事業や多言語による生活情報資料の配布、外国人へのマナー紹介などに取り組み、外国人にも住みやすく活動しやすい生活環境の整備を推進する。
国際的教育環境の向上	・外国人児童生徒等に対し、学習活動に日本語で参加できる能力を身に付けさせるため、一定の質が確保された日本語指導の体制を整備する。

(検討中)

- ・国家戦略特区による規制改革を通じ、外国人の創業を支援し、地場中小企業のグローバル化を支援するため、創業人材とそのスタッフの受入れや留学生等の起業・就職を容易にする新たな仕組みを検討する。【特区】
- ・外国人創業者などのグローバル人材とその家族が安心して生活できるよう、外国人に向けた医療環境を整備する。
- ・国家戦略特区による規制改革を通じ、病床の増床などにより、福岡市において高度な医療を提供する。【特区】

(2) 世界で活躍する企業やグローバル人材をひきつけるビジネス環境を実現する

施策	概要
市内通信環境の改善	・宿泊施設や公共施設への拠点拡大など公衆無線LANの環境整備に引き続き取り組み、都市の魅力向上やさらなる利便性の向上を図る。
空港機能の強化	・航空需要に適切に対応するため、国の事業である福岡空港の平行誘導路二重化及び滑走路増設の早期実現に向けた取り組みを県とともに推進する。【国】
港湾機能の強化	・世界とつながる国際物流拠点としてアイランドシティ国際コンテナターミナルの機能を強化する。 ・東アジアとの交流拡大に伴う国際旅客の増加や、クルーズ客船の寄港増加に対応するため、中央ふ頭の整備を推進し国際ターミナル機能の強化を図る。
都心部の拠点間相互の連携強化と回遊性の向上	・都心部での円滑な都市活動を支える快適な交通環境の創出に向け、地下鉄七隈線延伸事業の推進など、公共交通による拠点間相互の交通アクセスの向上を図る。【市・国】 ・誰にでもわかりやすい都市サインの充実強化などにより、快適で高質な回遊空間の創出に取り組む。

施策	概要
クリエイティブ街区の形成	<ul style="list-style-type: none"> 都心部の国際競争力を高める観点から、福岡市都心部容積率特例制度等を活用しながら建築物の更新期などを捉えた計画的な機能更新を促進し、創業支援・MICE 関連機能の整備を進めるなど、多様な企業や人材が集まり、出会いと交流を促す魅力的な都市空間を備え、新たなビジネスや価値を生み出す創造的な場の創出に取り組む。

(検討中)

- 国家戦略特区による規制改革を通じ、エリア単位で計画的な機能更新を進めている福岡都心部において、建物ごとの個別審査により行われている航空法に基づく高さ制限について、一定のエリア単位で緩和承認を受けることで、民間ビルの建て替えを促進し、より質の高いまちづくりの促進に取り組む。【特区】
- 国家戦略特区による規制改革を通じ、旅館業法の特例を活用し、ビジネス客等が滞在する際の多様なニーズに対応するため、滞在施設を柔軟かつ容易に確保できるような仕組みづくりに取り組む。【特区】
- 国家戦略特区による建築基準法の特例を活用し、拠点性の高い地域において、職住近接型の良質な住宅等の整備を促進することにより、創業・ビジネスがしやすい生活環境の形成を図る。(容積率の特例)【特区】